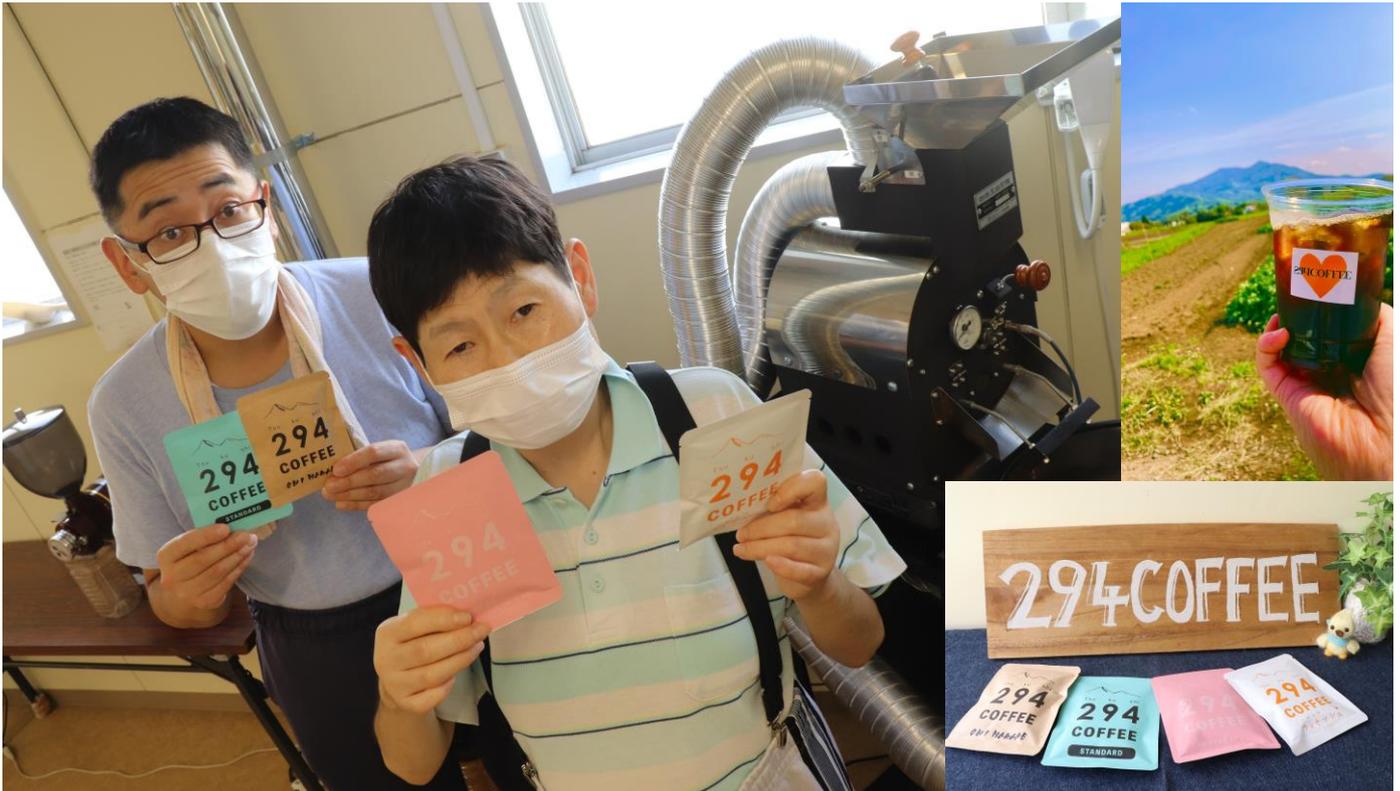


会報 第 6 3 号



発行者 社会福祉法人筑紫会 理事長 吉原 毅  
 障害者支援施設 真壁授産学園 電話 0296-55-4007  
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 1464-1  
 障害者支援施設 真壁厚生学園 電話 0296-54-2578  
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 8 5 2  
 編集 筑紫会報 編集委員会



インターネット通販サイト『294 MARKET』オープン！ <https://294market.official.ec>  
 『294 COFFEE』のご注文を承りますので、お気軽にご利用下さい♪

十月三日	健康診断	(授産)
十月四日	健康診断	(厚生)
十二月	クリスマス会	各施設
	忘年会	各施設
一月五日	仕事始め	(授産・厚生)
一月	新年会	各施設
二月四日～三月三日	真壁のひなまつり	
三月	三者面談	(授産・厚生)

今年度の冬季外泊帰省も、新型コロナウイルス感染症状況により、中止となる可能性がございますので、ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

§ 行事のお知らせ §

目次	
・行事のお知らせ	1 P
・身体拘束適正化検討委員会、発足	2 P
・研修を通して成長する	
↳ 幅広い知識の習得を目指して	3 P
・施設内行事・イベント	4 P
・あたらしい風（新規職員紹介）	5 P
・294 MARKET、オープン！	6 P
・令和三年度決算報告	7 P
・ありがとう善意の心	8 P
・NHK歳末たすけあい助成事業報告	8 P
・令和三年度表彰受賞者	8 P
・退職者、入退所者のお知らせ	8 P
・情報発信とのお知らせ	8 P
・編集後記	8 P

# 新委員会発足〜身体拘束適正化委員会

## 【制度改正】

令和三年度制度改正に伴う運営基準の見直しにより、身体拘束等の適正化推進の為、障害福祉サービス事業所において、次の取り組みが令和四年度から義務化されました。

①身体拘束適正化検討委員会の開催

・定期的（年一回以上）に開催し、検討結果を従事者に対し、周知徹底を図ること

②指針の整備

・事業所における身体拘束等の適正化のための指針（マニュアル）の整備

③定期的な研修の実施

・従事者に対し、指針に基づいた研修プログラムを作成し、定期的（年一回以上）に研修を実施すること

以上の三項目の義務化に伴い、事業所単位での速やかな対応が求められました。

## 【委員会の設置・マニュアル作成】

筑紫会においても今年四月に、『身体拘束適正化委員会』を設置。施設長をはじめ、真壁厚生学園及び真壁授産学園の職員で構成されており、すでに二度開催致しました。

マニュアルの整備に関しては、『事業所における身体拘束等の適正化に関する基本的な考え方』のほか、『事業所で発生した身体拘束等の報告方法等の方策に関する基本方針』、『身体拘束等発生時の対応に関する基本方針』など、必須項目がいくつかある為、毎年見直しを図り、ブラッシュアップをしていきたいと考えています。

## 【身体拘束の具体例・拘束三要件】

障害者支援施設における身体拘束の具体的な内容としては、次のような行為が該当すると考えられています。

①車いすやベッド等に縛り付ける

②手指の機能を制限するために、ミトン型の手袋をつける

③行動の制限をするために、介護服（つなぎ服）を着せる

④支援者が自分の体で利用者を押さえ付けて行動を制限する

⑤行動を落ち着かせるために、向精神

薬を過剰に服用させる

⑥自分の意思で開けることのできない居室等に隔離する

以上のような行為は絶対にあつてはならない行為であり、原則禁止の身体拘束です。しかし、例えばパニックによる激しい他害行為、こだわりによる多動や水の多飲行為などが発生した場合などのような対応をしたらよいのでしょうか。

国は『緊急やむを得ず身体拘束及び行動制限が必要と判断する場合』として、次の3要件を全て満たせば、例外的に身体拘束を認めています。

### ①切迫性

・利用者本人または他の利用者等の生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高いこと

### ②非代替性

・身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替える支援方法がないこと

### ③一時性

・身体拘束その他の行動制限が一時的なものであること

緊急やむを得ない状況が発生し、ご利用者様本人またはその他のご利用者等の生命、身体保護をする場合は、この三つの要件を全て満たす状態にあるかを確認する事が重要です。また、身体拘束及び行動制限に対する支援方針等も十分に話し合う必要もあります。

もちろんその状況については、本人、ご家族への十分な説明をし、了解を得ることも必要となります。

また、予め身体拘束や行動制限が必要と想定される方については、事前に本人、ご家族の同意を得た上で対応することとしています。

## 【身体拘束ゼロに向けて】

障害者虐待防止法では、『正当な理由なく障害者の身体を拘束すること』は身体的虐待に該当する行為とされています。障害の有無に関わらず、全ての人々には自分自身の意思で自由に行動し、生活する権利があります。

一方で身体拘束は、ご利用者様の意向に関わらず、その方の身体的・物理的な自由を奪い、ご利用者様の能力や権利を奪うことに繋がりが兼ねない行為です。身体拘束は、何よりも本人の尊厳を侵害することです。

そして、身体的能力の低下、褥瘡の発生等の身体的弊害、意思に反して行動を抑制されることへの不安や怒り、苦痛といった精神的弊害もあります。ご家族にも大きな精神的負担がかかります。ご家族にも大きな精神的負担がかかります。職員は自らの支援に自信が持てなくなり、悪循環を引き起こすこととなります。

身体拘束ゼロと支援の質の向上は同じ方向にあると認識し、拘束の必要がない状況を作り出せるよう常に利用者支援を追究していきたいと思えます。

# 研修を通して成長するく幅広い知識の習得をめざしてく

## 虐待防止研修

【真壁厚生学園】

真壁厚生学園では障害特性を理解し虐待防止に向けて適切な支援ができるよう知識の向上、基本的な理解を得る為、虐待防止対策委員会主催にて権利擁護・虐待防止研修を実施しました。

### ◎急激に変化する環境の中で

コロナ禍の中閉鎖的な環境になり、虐待事案が起こりやすい環境にあるといえます。研修を通して、改めて日々の業務の中で無意識・無自覚に出てしまう言動、また、職員の服装ひとつとっても威圧的に感じられる可能性があることに気づくことができました。

### ◎平常心の重要性

虐待防止標語や掲示物同様、今後は職場内で使用すべきではないと思われる単語や言葉を見える化する必要があると。また、これらを全職員が意識する事で、虐待に至る小さな芽を摘んでいけるのではないかと感じました。職員としてプロ意識を持ち、平常心を保ちながら業務に勤めることの大切さを再認識できる研修となりました。

【真壁授産学園】

真壁授産学園では虐待防止委員会の取り組みの一環として、身体拘束について、特に拘束条件の中の『非代替性』について研修を行いました。

### ◎非代替性について

基本的な考えとして、安易に身体拘束を行うことは身体的虐待にあたりますが、やむを得ず身体拘束を行う場合には三つの条件があり、その中の一つとして非代替性というものがあります。

非代替性とは、身体拘束やその他の行動制限を行う以外に代替する支援方法がないことを指します。

### ◎障害特性との関連性

私達職員はご利用者様一人一人の特性をきちんと理解し、その方に合った支援方法を考える必要があります。

勿論、身体拘束はないことが望ましいのですが、時と場合によっては必要な状況が出てくるかもしれません。十分な検討を図り、保護者やご家族ごとの理解も得ながら進めて参ります。



## 感染症対策研修

現在、新型コロナウイルス感染症の猛威が第七波まで続いている状況です。ご利用者様の安全を守るため、各施設で感染症予防研修を行い、消毒の方法や防護服の着脱などを学んでいきます。

### ○研修で学ぶ

各施設での研修では、動画を視聴しながら、ガウン着脱のテクニックを実践したり、看護師が講師となって消毒の仕方や拭き上げの方法などを復習したりして進められました。以下、各施設の看護師に現状の所感を伺いました。

### 真壁厚生学園 看護師 鈴木ゆみ子

コロナウイルス感染症が発生して三年目に入りますが、管理者主導のもと、感染症防止対策を徹底してきたことで、おかげさまで、感染者の発生はおさえられている状況です。また、現在四回目のワクチン接種が進められており、感染の予防だけでなく、発症時のリスク抑制の効果にも期待が持てます。

感染拡大をおさえるためには、日頃の

シミュレーションや職員の意識の向上が必要と。ご利用者様の安心を第一に考え、これからの安全管理に努めて参ります。



### 真壁授産学園 看護師 西村和代

今回の研修に関して、初めて研修を受けた新人職員も多く聞いたり、看護師の話しをメモしたりするなど、各職員が高い意識を持って真剣に取り組んでいました。

今後も定期的に感染症予防対策研修を実施し、職員全員がスムーズに防護服の着脱を行えるようにしていければと思います。

また、基本的なことではありますが、日頃の手洗い、うがい、手指消毒、拭き上げ消毒をしっかり行い、感染しないよう一人一人が意識を持つことで、自身の安全とご利用者様の安全を守ることができると思います。私自身もそのことを再認識しながら、日頃の感染予防に全力で取り組んで参ります。

# 笑顔かがやくレクリエーション大会!

【真壁厚生学園 五月一日】

コロナ禍で外出ができないご利用者様や、リレーで様の心身のリフレッシュを目的とし、真壁厚生学園にてレクリエーション大会を開催しました。当日は天気が心配されていましたが、雨は降らず、無事に行うことができました。

『レッツエンジョイ!かがやけ青春フェスティバル』というテーマが掲げられた今年のレクリエーション大会は、お馴染みの種目である大玉送りやリレーに加え、台風の目や〇×ゲームといった懐かしい種目も取り入れて行いました。

★みんなで盛り上がりました!  
新種目は初めての体験というご利用者様も多く、最初は緊張した表情でしたが、時間が経つにつれて笑顔も見られ、楽しめた様子でした。大玉送りやリレーといった定番の種目も、ご利用者様の声援が飛び交い、大盛り上がりでした。また、普段はクールな職員がグルグルバツ



トでフラフラになったり、リレーで全力疾走したりする姿に、ご利用者様も大喜びでした。

★おいしい昼食  
思いっきり体を動かした後は、お楽しみみの昼食です。事前にご利用者様の希望を取り、各々が選んだお弁当を食べていただきました。全力で楽しんだ後のお弁当はまた格別な様子で、「いっぱい動いてお腹減ったからおいしいね!」「そっちのお弁当も食べてみたい!」など、各々に昼食を楽しむ声が聞かれました。



★これからもご利用者様のために  
今年もコロナ禍での開催となりましたが、外で楽しく体を動かすことで、良い気分転換を図ることができたとおもいます。考え方によっては、コロナ禍だからこそできる行事もあるはずですので。今後もご利用者様の心身の健康のために、全員が笑顔で楽しめるような行事をたくさん催すことができます。う、前向きに努めて参ります。

## 満開の桜の下で

【真壁厚生学園 四月二日】

『春を満喫しよう』のテーマのもと、入所・通所のご利用者様を対象に、お花見を開催しました。

◎体を動かして春を感じる

当日は絶好の花見日和となり、午前中は各班で分かれ、散歩に出掛けました。目的地である東矢貝工業団地グラウンドに到着すると、用意していたボッチャやバドミントン、サッカー等を行って体を動かすご利用者様や、満開の桜を眺めて「きれいな!」と話すご利用者様もおり、各々春を満喫していました。



ました。

◎桜の下でバーベキュー

散歩を楽しんだ後は、学園の桜の下でバーベキューを行いました。お肉や野菜はもちろん、焼きそば、焼きうどんなどをたくさん準備し、班ごとに食べていただきました。どの班よりもおいしい焼きそばを作ろうと張り切る方、とにかく食べるのに夢中な方など、バーベキューを楽しんでいただきました。

## お楽しみ体験

【真壁厚生学園 六月二十五日】

ご利用者様の心身のリフレッシュを図るべく、『お楽しみ体験』を開催しました。

◎懐かしいビデオ鑑賞

当日はオンライン体操や、マスクを着用してのカラオケ等、思い思いに楽しんでいただきました。中でも盛り上がったのが、

過去の夏祭りや旅行等の映像を観て

◎昼食はモスバーガー!

昼食にはご利用者様に決めていただいた各種モスバーガーとジュース、厨房の職員が腕によりをかけて作った焼きそばとスープが提供されました。デザートも3種類から選んでいただき、『選ぶ楽しさ』も味わっていただけました。

「体を動かして美味しい物も食べられてよかった」等の感想が聞かれ、思い出に残る経験となったようです。



# 授産学園 ミニ運動会

【真壁授産学園 五月二十八日】

## ☆ミニ運動会開催♪

新型コロナウイルスの流行が続き、ご利用者の外出・外泊ができない中、少しでもリフレッシュしていただきたいという思いから、授産学園ではミニ運動会を実施しました。例年行っている厚生学園との合同運動会よりも競技数は少ないものの、赤組と白組に分かれハチマキを巻き、雰囲気はすっかり合同運動会です。

## ☆競技スタート!

開会式が終わったら準備体操をしっかり行い、いよいよ競技スタートです!ミニ運動会の競技は、大玉転がし、パン食い競争、〇×ゲーム、玉入れの四つ。大玉転がしとパン食い競争は、合同運動会よりも走る距離は短いのですが、皆様張り切って競技に参加してくださいました。特にパン食い競争では、普段はゆっくり行動されているご



利用者様が、全速力で走る姿が見られ、応援していただご利用者様や職員を驚かせました。走り終えたご利用者様は、皆さんから口々に

「すごかったよ!」「お疲れ様!」と声を掛けられ、少し照れたような様子でした。

競技に参加してくださった方の中には

自前のメガホンを使って声援を送っているご利用者様もいらっしやいました。また、走るのが遅くなってしまったご利用者様に対しても、ゴールにたどり着くまで声援を送っており、ご利用者様の心の温かさが感じられました。全員参加の〇×ゲームと玉入れも大いに盛り上がり、ご利用者様と職員が一緒になって競技を楽しみました。

## ☆勝者は…白組!

全ての競技が終わり、結果は白組の勝利に終わりました。しかし、勝った方も負けた方も精一杯競技を楽しんでいたのだと思います。合同運動会と比べると競技数は少なく、規模も小さかったのですが、変わらぬ盛り上がりを見せていました。

コロナウイルスの流行が落ち着き、厚生学園のご利用者様と一緒に楽しく競い合うことができる日が来ることを願うばかりです。



# 春イベント

【真壁授産学園 四月二十九日】

桜が散り、いよいよ春も終わりを迎える頃、授産学園では春イベントを開催しました。

午前中には散歩をしながらのゴミ拾いを行いました。授産学園からマカパンまでのお散歩コースを歩きながら、ゴミ袋を持ち道端に落ちているゴミを拾いました。散歩が終わる頃になると、袋いっぱいゴミが集まり、ゴミ拾いを通してやさやかな地域貢献を行うとともに、ご利用者様にとって達成感とやりがいを感じる時間となりました。

ゴミ拾いを終えお昼を食べた後は、皆様お待ちかねのビンゴ大会です。職員が読み上げる番号を注意深く聞きながら、ビンゴを楽しみました。景品はお菓子の詰め合わせ!ビンゴになったご利用者様は嬉しそうに景品を受け取っていました。ご利用者様からは「ゴミ拾い大変だったね」「ビンゴ楽しかった」等の声が聞かれ、春イベントは大成功に終わりました。



# お好み焼き外出

【真壁授産学園 六月十一日】

木々の緑が目ごとに色を深めていく六月、授産学園では桜川市岩瀬にあるお好み焼き屋『千々せんなりく』にて外食イベントを開催しました。

新型コロナウイルスの流行により長らく外出できていないご利用者の皆様がりフレッシュできるようにと企画し、お店を貸し切って換気・消毒等感染対策を徹底して行いました。

当日はお好み焼きのほか、もんじゃ焼きや焼きそば、さらにデザートまでも嬉しそうな表情を浮かべており、久しぶりの外食に心を躍らせながらどのメニューも美味しく召し上がっていました。皆様からは「美味しかったよ」「お腹いっぱいになった」等の感想が聞かれ、久しぶりの外出でお腹も心も満たされ、リフレッシュすることができた一日となりました。



# 新規職員紹介

今年の新任職員のみなさんをご紹介いたします。紹介文は、①出身地 ②趣味 ③好きな言葉 ④メッセージを伺いました。

## ◆真壁授産学園◆

支援員 岡林 利江

①大阪府 ②音楽（聴いたり、作ったり）、絵を描くこと ③人生はプラスマインスゼロ！ではない ④4月から今日まで、ご利用者様、職員の方に本当に良くしていただき感謝でいっぱいです。少しずつですが、感謝のお返しができる様にしたいと思います。

支援員 川上 麻衣

①銚田市 ②音楽鑑賞 ③初心、忘るべからず ④ご利用者様ひとりひとりと向き合い、より良い支援に繋がっていくよう、自分のペースで着実に仕事を覚えていきたいと思えます。自分自身も成長できるように、日々勉強に励みます。

調理員 古沢 侑紀

①筑西市 ②バレーボール、買い物 ③臥薪嘗胆 ④心機一転がんばりたいです。

支援員 杉本 千恵子

①水戸市 ②スポーツ（バスケット、サッカー）、アウトドア（山登り、釣り、キャンプ、スノーボード、サーフィン） ③真心 ④常に学ぶ姿勢と謙虚さを持ち続け、日々成長していきます。新たな環境を楽しみたいです。



支援員 野口 花織

①桜川市 ②ハンドメイド雑貨作り ③平穩無事 ④先輩方の姿を見て一つの仕事を丁寧に学んでいきたいと思えます。またご利用者様に信頼していただける支援員になれるよう頑張っていきたいです。



マカパン職員 石塚 由加利

①かすみがうら市 ②読書、長距離ドライブ ③継続は力なり ④常に相手の気持ちになって考え行動する事を心掛け、ご利用者様に寄り添いながら社会貢献したいと思っております。

## ◆真壁厚生学園◆

調理員 阿部田 恵子

①桜川市 ②バスケット観戦、韓国ドラマを観ること ③心意気と覚悟 ④「食」とは一つの楽しみです。皆さんの嬉しそうなお顔を拝見しながら、私も携わっている喜びを感じています。

## 294 MARKETオープン!!

### ▼294 MARKETができるまで

授産学園の就労継続支援B型事業の一環である珈琲事業部『294 ROASTERS』立ち上げから間もなく二年が経とうとしております。

実際にお客様と接しながら販売を行う機会もありました。その中で「通販で買えたらうれしい」「遠方から来たのでもどこでも買えるようになったらいいな」というお声をいただきました。私たちも、沢山の方に294 COFFEEを飲んでいただきたいた日々考えております。そしてその思いは形となり、インターネット通販サイト『294 MARKET（つくしマーケット）』をオープンすることが出来ました。

### ▼294 MARKETについて

294 COFFEEのドリップパック コーヒーやコーヒーの粉・豆はもちろん、ギフト商品を各種取り揃えております。コーヒーは注文があつてから

パック詰めを行います。新鮮なコーヒーはお湯を入れると違いが一目瞭然、購入して頂いたお客様に「こんなに泡立つコーヒーは初めてです！」とびつくりされたことも。

コーヒー以外にも授産学園生産部が手塩にかけて育てた自然栽培米『蝶とんぼ』、溶岩窯パン工房MARKAPANのフィナンシェやラスク等のスイーツと筑紫会のおいしいものがぎゅつとつまったサイトになっています。

お中元やお歳暮の時期にはシーズンギフトが登場し、早速お中元のシーズンでご利用いただきました。

### ▼私たちの想い

『私たちが作ったコーヒーで、幸せな気持ちになってもらえたらいいな』という思いで日々コーヒーを作っている294 ROASTERS。インターネット販売が行えるようになったことでよりたくさんの方に知って頂くことができるようになると思っています。それによってご利用者様が「頑張ってるよ！」「もっと頑張りたい！」「もっと頑張りたい！」と励みになるよう、職員も宣伝や販売に力を入れていきたいと思っております。ぜひご自宅用に大切な人への贈り物にご利用いただけたら幸いです。



↑詳細はこちらから

# 令和 3 年 度 決 算 報 告

社会福祉法人 筑紫会

## 資金収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位 : 円)

勘定科目	決算額
事業活動収入	520,680,509
事業活動支出	436,860,356
事業活動資金収支差額	83,820,153
施設整備等収入	5,977,275
施設整備等支出	20,101,824
施設整備等資金収支差額	-14,124,549
その他の活動収入	12,402,534
その他の活動支出	72,602,940
財務活動資金収支差額	-60,200,406
当期資金収支差額合計	9,495,198
前期末支払資金残高	268,477,608
当期末支払資金残高	277,972,806

## 事業活動収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位 : 円)

勘定科目	決算額
サービス活動収益	515,918,726
サービス活動費用	465,408,021
サービス活動増減差額	50,510,705
サービス活動外収益	5,080,143
サービス活動外費用	2,847,710
サービス活動外増減差額	2,232,433
経常増減差額	52,743,138
特別収益計	5,910,000
特別費用計	942,892
特別増減差額	4,967,108
当期活動増減差額	57,710,246
前期繰越活動増減差額	401,234,820
当期末繰越活動増減差額	458,945,066
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	11,991,134
その他の積立金積立額	70,200,000
次期繰越活動収支差額	400,736,200

## 貸借対照表

令和4年3月31日 (単位 : 円)

資産の部		負債の部	
流動資産	310,741,846	流動負債	49,169,488
固定資産	2,234,123,115	固定負債	33,146,640
		負債の部合計	82,316,128
		純資産の部	
		基本金	326,992,931
		国庫補助金等特別積立金	
		その他の積立金	1,664,229,173
		次期繰越活動増減差額	400,736,200
		(内当期活動収支差額)	57,710,216
		純資産の部合計	2,462,548,833
資産の部合計	2,544,864,961	負債及び純資産の部合計	2,544,864,961

ありがとう 善意の心

◎寄付・寄贈（順不同）

根岸 定雄 様	皆川美智子 様
大塚 たま 様	工藤 忠男 様
高田 章 様	根本 明 様
広瀬 均一 様	古沢 道子 様
森下 松寿 様	浅野 敬繁 様
小島美代子 様	佐藤 義夫 様
坪野谷隆夫 様	藤田 直子 様
加藤 梅子 様	大野 竜也 様
小田島郁夫 様	笹目 俊夫 様
村山 英雄 様	村山 道春 様
飯田 正夫 様	和田 徹 様
富田 良子 様	小須田すみ江様
岡部 正敬 様	上之門百合子様
高松 三夫 様	
みんなのコンテニュー 様	

この度もタオルやお菓子などを始め、たくさんのご寄付・ご寄贈をいただきました。大変感謝しております。

両学園の事業にご支援頂き誠にありがとうございます。この場をお借りいたしまして

御礼申し上げます。

NHK歳末たすけあい助成事業 (令和三年度事業報告)

◇真壁授産学園

毎年開催されるクリスマス会と新年会の一部に使わせていただきました。サンタクロースからのクリスマスマスプレゼントや、新年会でのビンゴゲーム、ケーキやオードブルなどの豪華な料理に心もお腹もいっぱいになり、心身共にリフレッシュすることができました。

◇真壁厚生学園

食堂テーブル（三十脚）購入に使わせていただきました。従来の対面式六人用テーブルから二人用テーブルになり、以前よりゆつたりとしたスペースで食事を摂ることができるようになりました。

ここに、共同募金会様（NHK歳末たすけあい）による県内外の関係者並びに多くの皆様方のご支援にこの場をお借りしまして、心より感謝申し上げます。

○お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大状況により、行事のお知らせに記載されている『真壁のひなまつり・三者面談』は中止となる場合がございますので、ご理解ご協力下さいますようお願い致します。

☆令和二年度表彰受賞者☆

受賞おめでとうございます。

- ☆日本知的障害福祉協会福祉事業 功労者表彰
  - 支援員 谷貝 和子 (授産)
- ☆全国社会就労センター協議会 永年勤続者表彰
  - 看護師 西村 和代 (授産)
  - 調理員 臼井 幸子 (授産)
- ☆社会福祉事業者功労者自立更生者に対する茨城県知事表彰
  - 副施設長 高橋 浩成 (授産)
  - 調理員 兼村 匡人 (授産)
- ☆茨城県社会福祉協議会会長顕彰
  - 支援員 小野原 久仁子 (厚生)
  - 事務員 宮田 有香里 (厚生)
- ☆令和二年度茨城県警察本部長茨城県安全運転管理者協議会会長 優良事業所表彰
  - 真壁授産学園
- ☆令和二年度関東安全運転管理協議会 連合会優良運転者表彰
  - 主任 吉原 晴美 (厚生)

☆桜川市安全運転協議会優良運転者表彰

- 副主任 葛西 剛 (厚生)
- 看護師 栗崎 昭子 (授産)

退職者・異動、入所者のお知らせ

▽退職者

- 3/31付
  - 支援員 丸山 武志 (授産)
  - 支援員 齋藤 功太郎 (授産)
  - 調理員 鈴木 美咲 (厚生)
  - 支援員 佐藤 美涼 (厚生)
- 6/2付
  - 支援員 関 馨 (授産)
- 6/30付
  - 支援員 大野 史奈 (授産)
- 8/31付
  - 支援員 田崎 里佳 (授産)
- ▽異動(授産学園↓厚生学園)
  - 4/1付
    - 看護師 栗崎 昭子

▽入所利用者

- 入所ご利用者様【通所】
  - 4/4付 藤田 遥翔 (授産)
  - 6/3付 草野 明日美 (授産)
  - 8/1付 谷中 李月 (授産)

編集後記

今年の夏は、まれにみるほどの梅雨の短さに加え、危険な暑さが連日続くなど体にこたえる日々でした。残暑も厳しく、コロナウイルス感染症も落ち着きを見せておりませんが、くれぐれもご自愛のほどお祈り申し上げます。

